

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	1. にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	SDGs																
施策	3. 地域特性を生かした観光の推進																	

施策で目指す姿

●社会環境や旅行形態の変化などに対応した誘客対策を推進し、観光客の増加を目指すとともに、戦略的な情報発信により「観光地・霧島」の知名度向上を図ります。
●国内外の観光客に「選ばれる」「また訪れたいくなる」観光地となるような観光素材の創出や活用を推進します。
●社会環境の変化や新たな観光ニーズに対応することで、「誰もが訪れたいくなる」「安心・快適な」「利便性の高い」観光地づくりを推進します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 国内外の観光客の誘致	決算額	77,634千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
●宿泊客数は3月からの新燃岳噴火や8月の大雨災害により影響があったものの、「霧島に泊まって！1万人キャンペーン(対象施設に宿泊客一名につき2,000円をキャッシュバック)」等の実施により、前年比と同水準となった。また、外国人観光客数もチャーター便の就航により、前年度と同水準となった。 ●観光宣伝イベントやセールス等の回数が増加し、旅行会社等と直接商談を行い誘客につなげることができた。	●鹿児島空港国際線定期路線について、令和6年7月にコロナ禍前に運航していた4路線(韓国、台湾、上海、香港)全てが再開されたものの外国人宿泊客数はコロナ禍前に回復していない。また、令和7年7月から香港線が運休し、さらに同年12月には上海線が運休した。現在は2路線(韓国、台湾)のみ運航しており、外国人宿泊客数は落ち込む可能性もある。	●鹿児島空港国際線定期路線について、令和7年の途中から運休している2路線(上海、香港)の運航再開を期待しつつ、主に外国人観光客や富裕層を対象とした高付加価値の体験メニューについて、旅行会社等へのセールスや旅行者への情報発信に努め、観光客の滞在時間の延長につなげていく。
2. 観光素材の創出と活用	決算額	107,770千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
●宿泊客数は3月からの新燃岳噴火や8月の大雨災害により影響があったものの、「霧島に泊まって！1万人キャンペーン(対象施設に宿泊客一名につき2,000円をキャッシュバック)」等の実施により、前年比と同水準となった。また、外国人観光客数もチャーター便の就航により、前年度と同水準となった。 ●魅力ある観光素材について、各種メディアやウェブ等を積極的に活用し効果的な情報発信ができた。	●肥薩線が令和7年8月の大雨災害により、不通となった。観光地である大隅横川駅や嘉例川駅、霧島温泉駅もJRの不通で影響を受けている。	●肥薩線の令和8年7月運行再開に向けたイベントに参加する。 ●クルーズ船乗客の霧島への誘客に繋がるルート設定や霧島ジオパーク推進協議会、錦江湾奥会議と連携した事業を実施する。また、霧島神宮駅やその周辺エリアへの誘客につながるPRを行う。
3. 利便性の高い観光地づくりの推進	決算額	61,532千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策
●霧島神宮アクセスバスの本格運行を開始し、令和7年7月1日にみやまコンセールへのアクセス向上を図るため、柳平バス停の新設や7月18日からはバス車内にキャッシュレス決済システムを導入して更なる利便性の向上を図ることが出来た。 ●鹿児島空港、鹿児島中央駅等への電照看板広告などで霧島市の魅力を発信することができた。	●JR国分駅みどりの窓口がバス乗車券の販売業務を撤退したことに伴い、バス乗車券購入の利便性低下が懸念される。 ●鹿児島空港の電照掲示板のデザインをタイムリーな情報に更新する必要がある。	●観光路線バス利用者の動向や観光ニーズなどを踏まえ、バス路線の変更・増設などによる利便性の向上を図り、更なる観光客の誘客に努める。 ●看板の更新について、電照掲示板からデジタルサイネージへの変更、タイムリーな情報内容などの効果的なPR看板を検討する。

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
11. 観光客数(宿泊+日帰り)	市観光統計(暦年) (N-1)	6,371,846人	62.70%	3月の新燃岳噴火や7月の霧島地区における断水及び温泉供給の停止、8月の大雨による水害により観光業(観光客数)に大きく影響を及ぼし、対前年比96.07%となった。
		7,490,000人	↑	
12. 国内宿泊客数	市観光統計(暦年) (N-1)	709,064人	90.19%	3月の新燃岳噴火や7月の霧島地区における断水及び温泉供給の停止、8月の大雨による水害により観光業(観光客数)に大きく影響を及ぼし、対前年比90.19%となった。
		770,000人	↑	
13. 外国人宿泊客数	市観光統計(暦年) (N-1)	69,372人	57.39%	鹿児島空港国際線の定期路線の再開やチャーター便の運航により対前年比で増加となっている。
		120,000人	↑	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
●主に外国人観光客や富裕層を対象とした高付加価値の体験メニューについて、旅行会社等へのセールスや旅行者への情報発信に努め、観光客の滞在時間の延長につなげていく。 ●クルーズ船乗客の霧島への誘客につながるルート設定や、霧島ジオパーク推進協議会・錦江湾奥会議と連携した事業を実施する。また、霧島神宮駅やその周辺エリアへの誘客につながるPRを行う。 ●観光関係者やバス運行事業者などから情報収集を行いながら、観光路線バスの更なる利便性向上につながる取組を検討する。また、定期的な看板の更新ができるよう、常に旬の情報の把握に努める。

施策幹事課	関係課
商工観光部観光PR課	商工観光部商工観光施設課